

## 野鳥観察会（令和2年1月19日開催）

北川捷康さんを講師に迎え、「野鳥観察会」を開催しました。

参加者は大人10人子ども2人の計12人でした。

### 1 講師から事前説明

毎年12月から翌年2月までの3ヶ月間、野鳥の個体数調査を行っていますが、これまでは6年毎の周期で増減が繰り返されています。この周期では昨年と今年が増加する年に当たりますが、両年ともに個体数が異常に減少しています。この原因は大型台風の影響や異常気象、農薬によるエサとなる昆虫の減少などが考えられます。

今、沼で一番多く見られる野鳥はカモの仲間です。カモの仲間は夜行性であり、夜間にエサを食べて昼間に睡眠をとりますが、外敵から身を守るため、群れで固まりながら10数秒間位寝て目覚めることを繰り返しています。



### 2 野外観察

ビジターセンターを出発してすぐに菜の花畑の中にツグミが見られました。鹿島神社方面の観察路からの講師の説明を受けながら観察を始めました。沼の枯れ枝にはジョウビタキ、キセキレイがとまっていました。その後、観察路沿いにはモズ、メジロ、ヒヨドリなどの姿が見られました。



A観察小屋から多数のマガモに混じり、コガモ、オナガガモ、カンムリカイツブリ、カワウなどが見られました。



ふじだな  
藤棚の横にあるハゼの木には、実を食べるために野鳥がたくさん集まります。例年、今頃の時期になると実はほとんど付いていませんが、今年は野鳥の数が少ないせいにかまだ実が付いていました。





### 3 まとめ

ビジターセンターへ戻り、本日観察した野鳥を参加者全員で確認しながらホワイトボードへ書き出しました。

マガモ、オナガガモ、コガモ、カンムリカイツブリ、アオサギ、キジバト  
ツグミ、ヒヨドリ、ジョウビタキ、メジロ、キセキレイ、ノスリ、シメ、モズ  
カワウ、ハクセキレイ

計 16種

